

令和3年度 学校評価 集計結果と今後の方針 (分教室)



| | | | |
|-----|-----|------|-----|
| 回答率 | 保護者 | 49% | 72% |
| | 教職員 | 100% | |

* 保護者： B部門（分教室）保護者

学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

令和3年度 学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価（4、3）とマイナス評価（2、1）とし、未記入を加え、表示しました。

(2) 全体合計（協議委員、保護者、教職員合計）において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行い、評価記号を付けました。

① マイナス評価10%未満（◎）

② マイナス評価20%未満（○）

③ マイナス評価25%未満（△）

④ マイナス評価25%以上（▲）

⑤ 全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない（□）

⑥ 教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要（■）

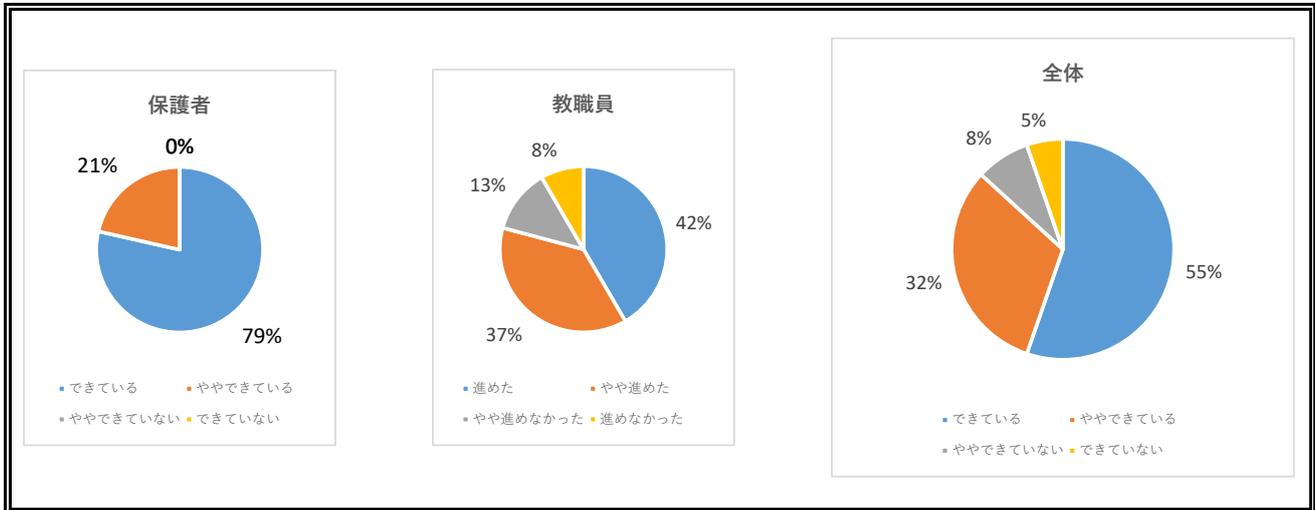
⑦ 保護者の未記入が10%以上であり、保護者への理解啓発取組が早急に必要（◆）

(3) 回答用紙に書かれた意見や課題（抜粋）では、個人が特定できないように表現を改めるとともに、内容を一部要約しています。

■ 最重点目標 1 学園生が誇れる教育活動の展開

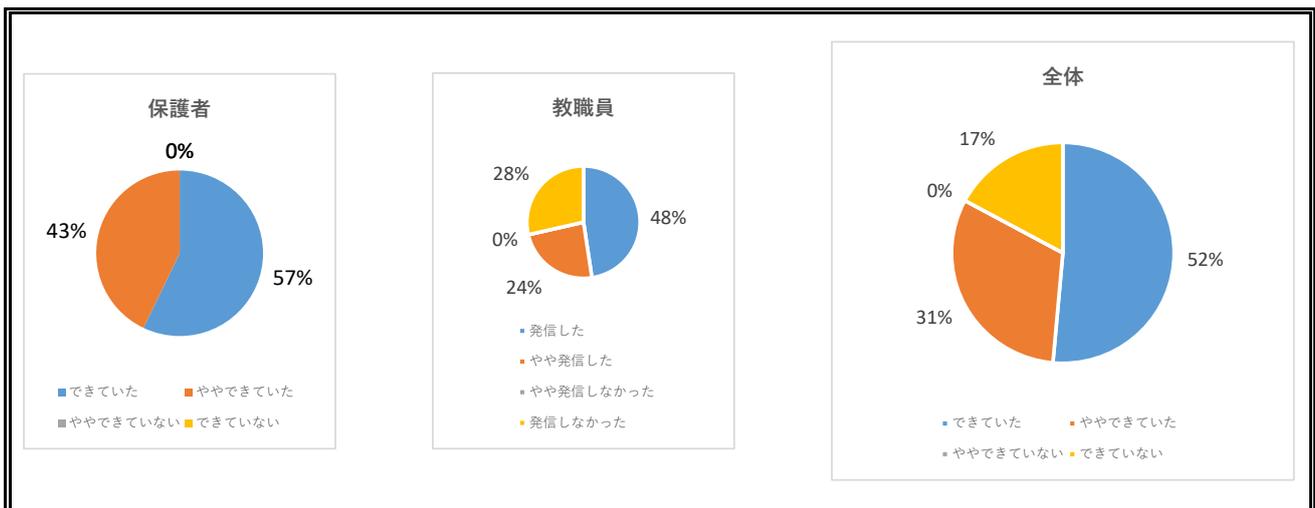
Q1

| | |
|------|--|
| 【設問】 | そよ風分教室や病院訪問の児童・生徒が病状に応じた交流を通し、学園の一体感を感じられる教育活動を進めることができますか。(分教室拠点) |
| 【取組】 | 入学式・始業式・終業式の実施、そよ風作品展(11月19日～24日)、書初大会(1月実施)光明アートギャラリー、全校美術表彰(光美展(12月))全校書道表彰(光書展(1月実施)) |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ○ | コロナ禍の中ではありますが、病院との連携を大切にしながら、病状に合わせた交流を通し、学園が一体感を感じられるように実施しています。 |



Q2

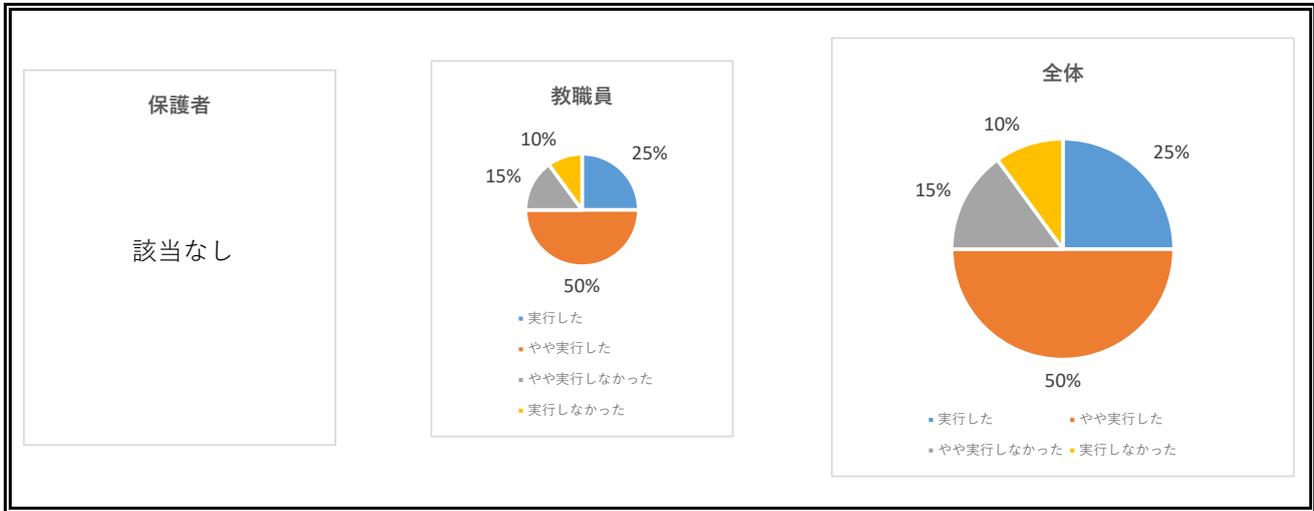
| | |
|------|---|
| 【設問】 | HP(ホームページ)やFairCast(フェアキャスト)、Twitter(ツイッター)、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていましたか。 |
| 【取組】 | HP及びTwitter更新やFairCast(随時)、敷地内・梅ヶ丘駅構内掲示板による情報発信(随時)、各種学校通信・全校保護者会通信の発行 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ○ | ホームページやTwitterによる情報発信や、保護者へ向けたFairCastでの連絡、紙配布の学校通信等、さまざまな形態を用いて、迅速に必要な情報を発信していきます。 |



■ 最重点目標 2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上

Q3

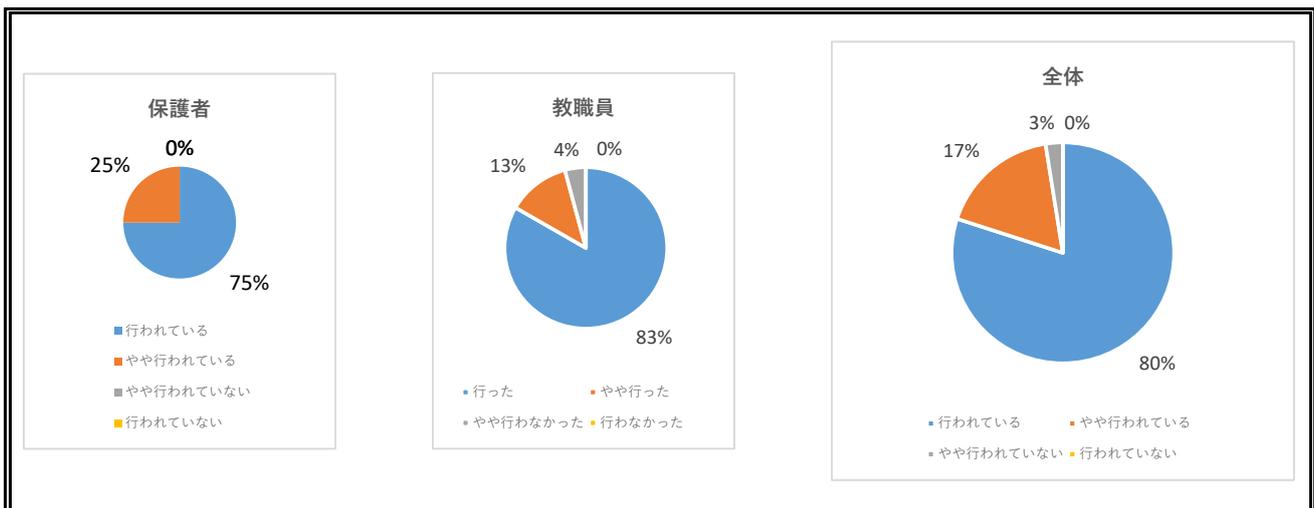
| | |
|------|---|
| 【設問】 | 時間外勤務の把握や、業務ミッションの共有等により、ライフワークバランスを踏まえた業務改革を実行しましたか。 |
| 【取組】 | 超過勤務あるいは超過勤務の可能性のある者へのメール通知、個別相談・産業医による面接や指導の実施、業務ミッション一覧の提示と業務上の課題共有による機能化 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ▲ | 現在、教職員の超過勤務が課題となっています。さらに業務の見直し、効率化を進めて、ライフ・ワークバランスを推進していきます。 |



■ 最重点目標 3 専門性ある人材を活用した教育の充実

Q4

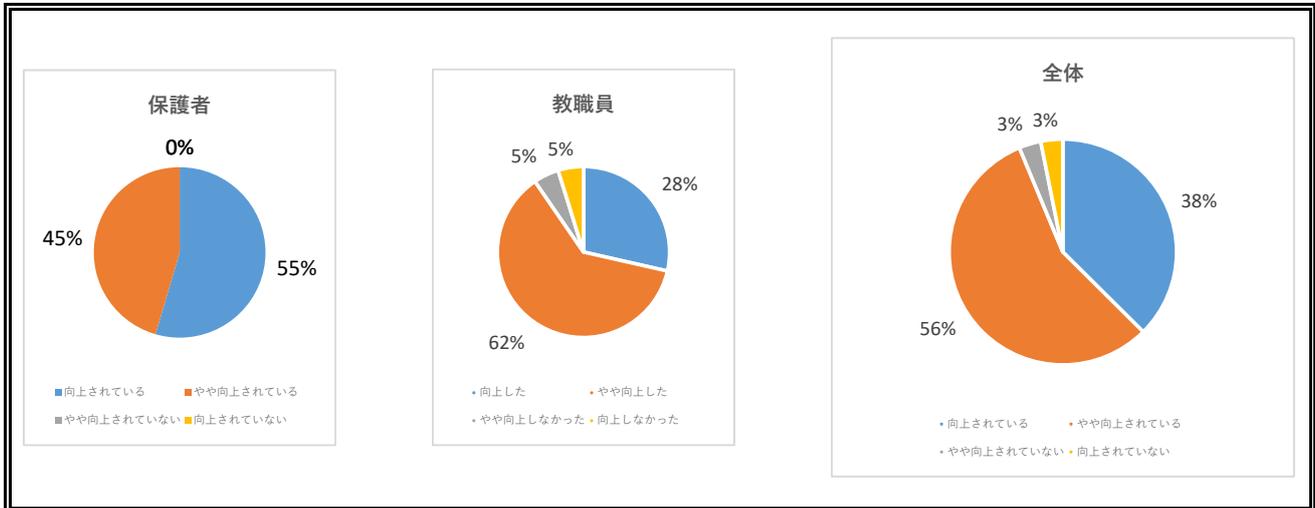
| | |
|------|---|
| 【設問】 | そよ風分教室、病院訪問は、病院(医療関係者)と連携して指導、支援が行われていますか。(分教室拠点) |
| 【取組】 | 治療に合わせた児童・生徒の学習支援と心理面のサポート等(分教室拠点) |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 毎日の学習や、復学カンファレンスなど、病院（医療関係者）と連携しながら、必要なサポートを行っています。 |



■ 最重点目標 4 授業力の向上 個別学習等の「個に応じた学習指導」の力量形成

Q5

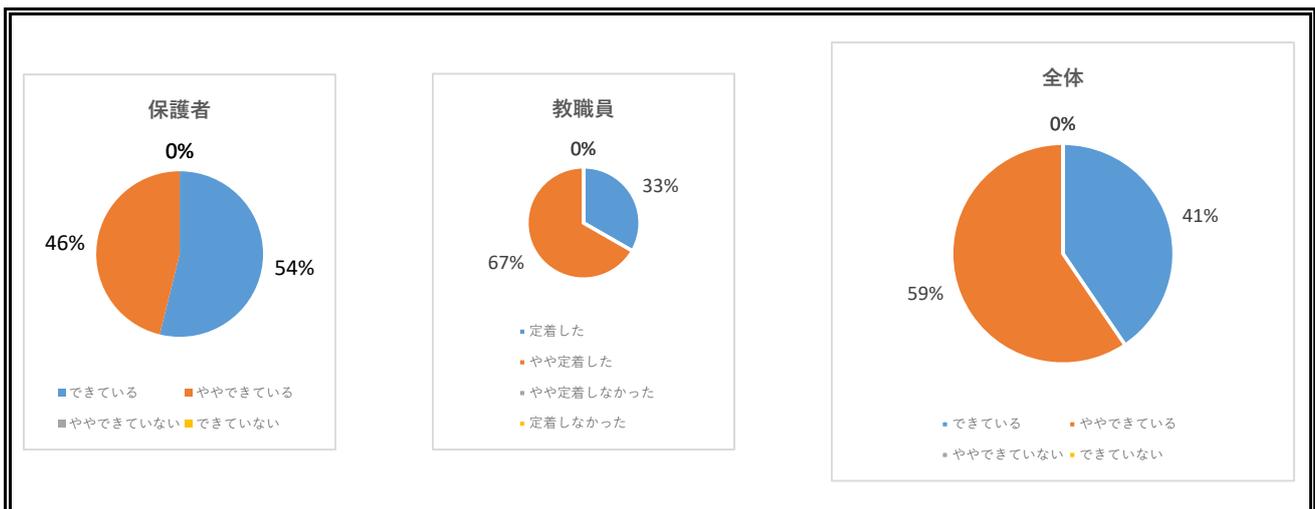
| | |
|------|--|
| 【設問】 | オンライン研修の導入や授業者支援会議、外部専門家等を活用した授業力向上の取組により、学園生の個別指導が充実され、基礎的学力が向上されていますか。 |
| 【取組】 | オンライン研修の導入、各学習グループ年次研修対象者(該当者無しの学習グループは1人選出)の授業者支援会議年50回実施 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | オンライン研修や、授業者支援会議は、教職員の資質向上に役立っています。研鑽したことを、「個に応じた学習の指導」に生かし、学園生の学びにつなげていきます。 |



■ 最重点目標 5 専門性発揮・向上による特色ある教育の推進

Q6

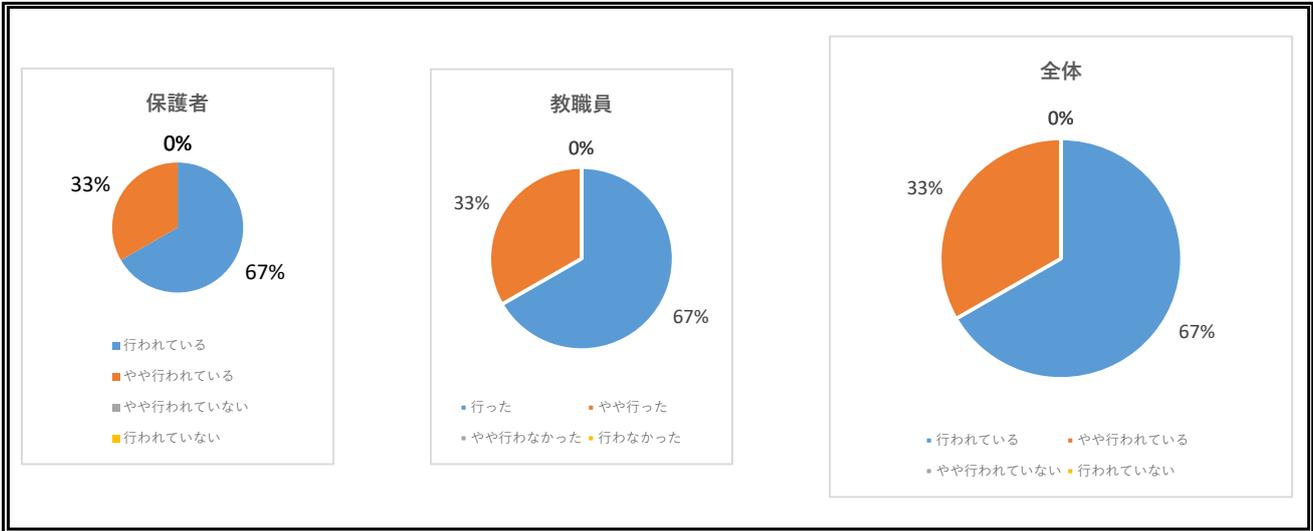
| | |
|------|--|
| 【設問】 | ICT機器や支援機器を効果的に学習指導に活用することで、学習の定着を図ることができていますか。 |
| 【取組】 | GIGAスクール構想の推進、タブレット型端末、教育用ICTパソコン、分身ロボット、オンライン授業、スイッチ、コミュニケーション機器等の活用 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | GIGAスクール端末の導入(病訪)、オンライン学習の拡充等により、ICTを活用した学習が広がりました。通信状況の不具合については今後も検討していきます。 |



■ 最重点目標 6 学園生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q7

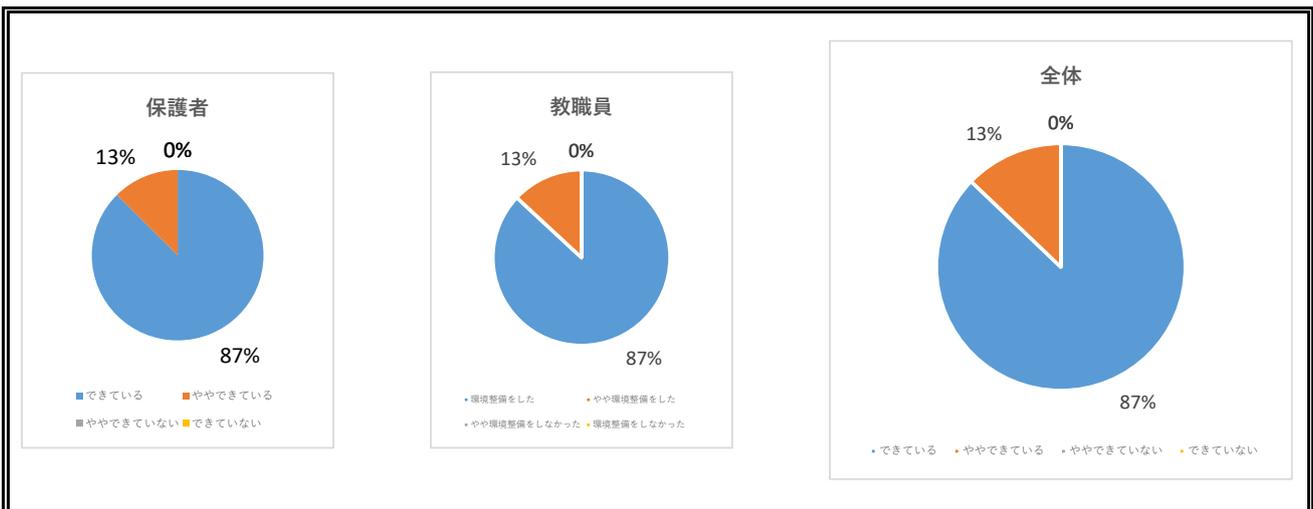
| | |
|------|---|
| 【設問】 | いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導が行われていますか。 |
| 【取組】 | 服務事故防止研修の実施、いじめ・体罰・自殺防止会議の定例開催(企画調整会議後毎回開催)、体罰調査の実施、相談窓口の情報提供 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 毎週「いじめ・体罰・自殺防止会議」を開催し、気になる小さな芽を拾うようにしています。また、教職員の人権意識の向上に向け、啓発していきます。 |



■ 最重点目標 7

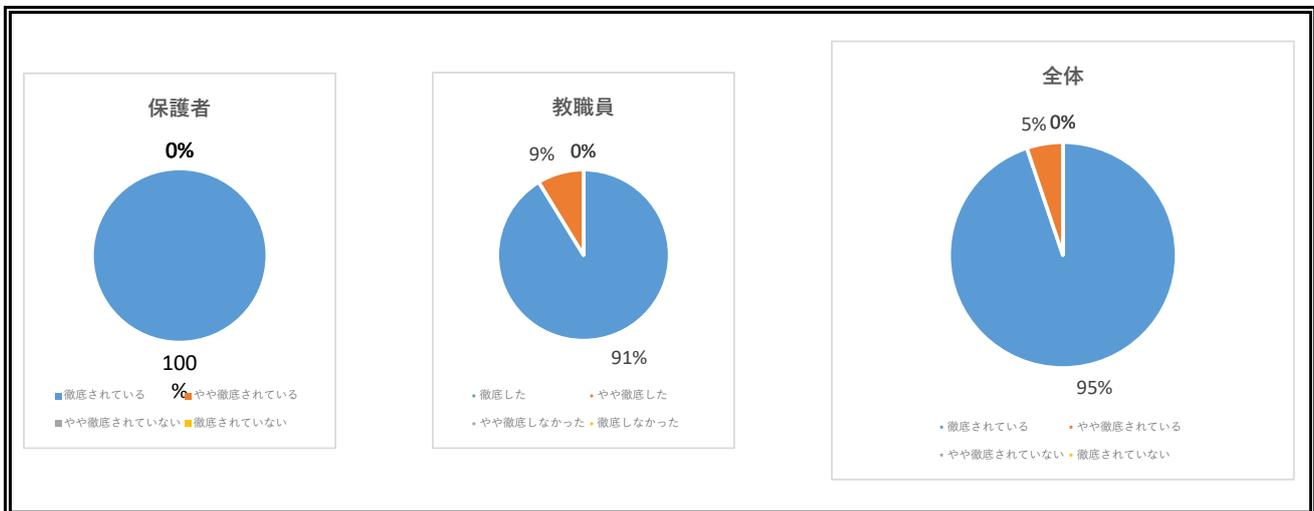
Q8

| | |
|------|---|
| 【設問】 | 分教室、病院の教室では、事故や怪我をしないように、安全な環境整備ができていますか。(分教室拠点) |
| 【取組】 | 教室・校舎内外環境整備、クリーンデスクデイ・環境整備デイの計画的な設定 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 教室や廊下、トイレなど、定期的に環境整備を行うことで、学園生が安全に学校生活を送れるようにしています。 |



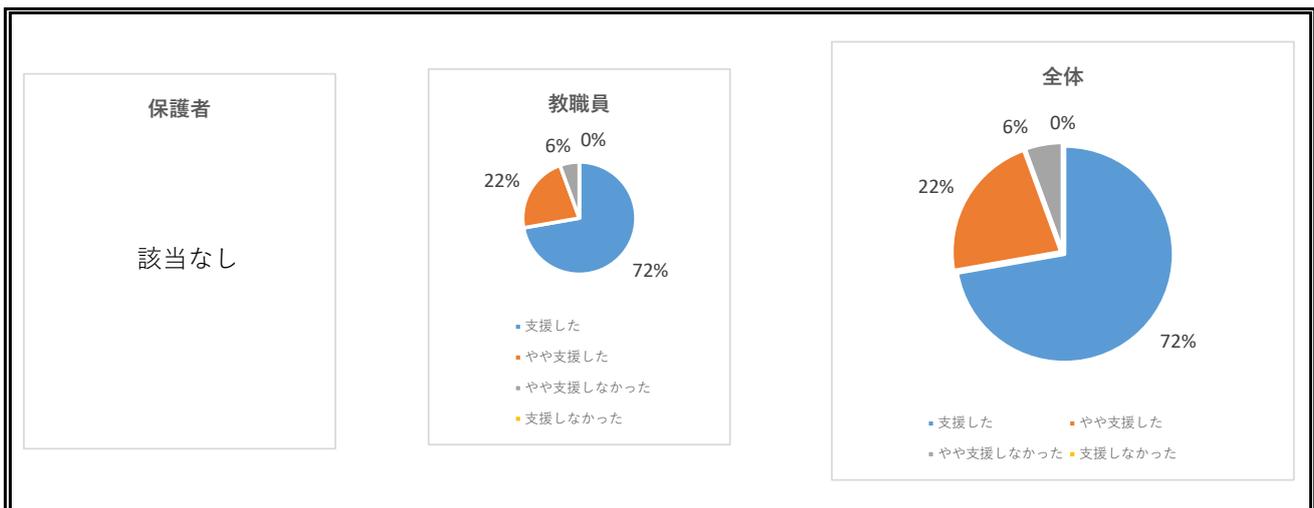
■ 最重点目標 7 感染症予防の推進を含む安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築
Q9

| | |
|------|---|
| 【設問】 | 感染予防・感染拡大防止対応が徹底されていますか。 |
| 【取組】 | 「健光の橋」の発行による保護者への周知、感染予防対策マニュアルに沿った対応の徹底 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 感染予防マニュアル、病院の指示に従い、教職員の感染予防対策以外にも、端末や教材など病棟へ持ち込む物品や、分教室内の消毒作業を念入りに行い、感染予防に努めています。 |



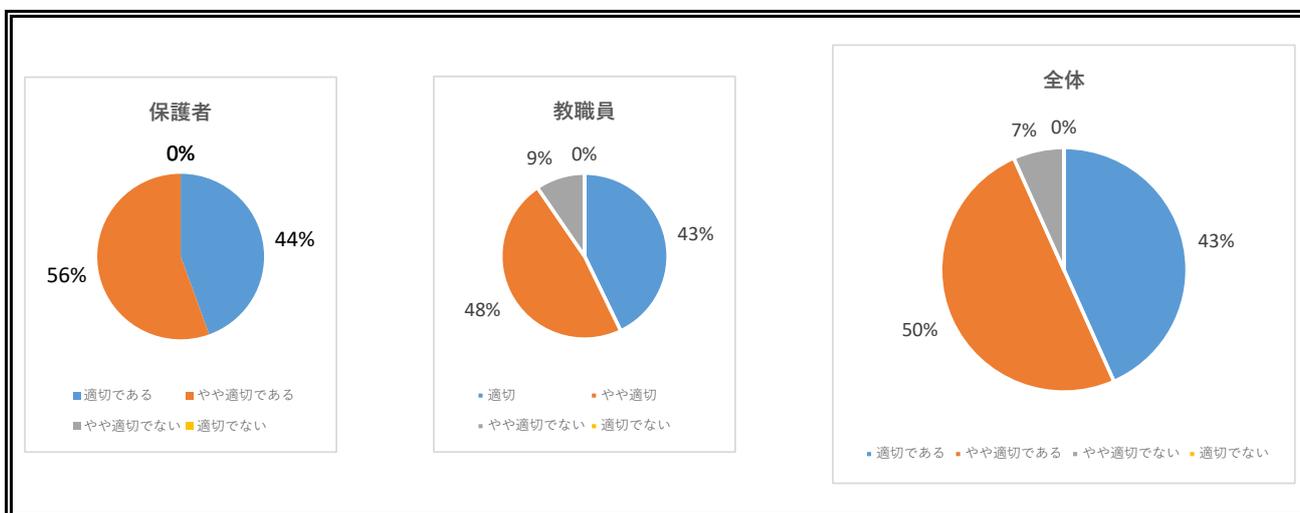
■ 最重点目標 8 進路指導・地域支援・教育相談の充実
Q10

| | |
|------|--|
| 【設問】 | 就学・転学・入学・教育相談について、学園として東京都特別支援教育推進室と連携し、就学予定児や学園生、保護者へ適切に支援をしましたか。 |
| 【取組】 | 個別の電話相談、学校見学の実施、HP上の情報発信、各区・東京都と連携した就学相談及び転学相談の実施 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 東京都特別支援教育推進室との連携により、就学相談等を行っています。情報共有を的確に行い、進めてまいります。 |



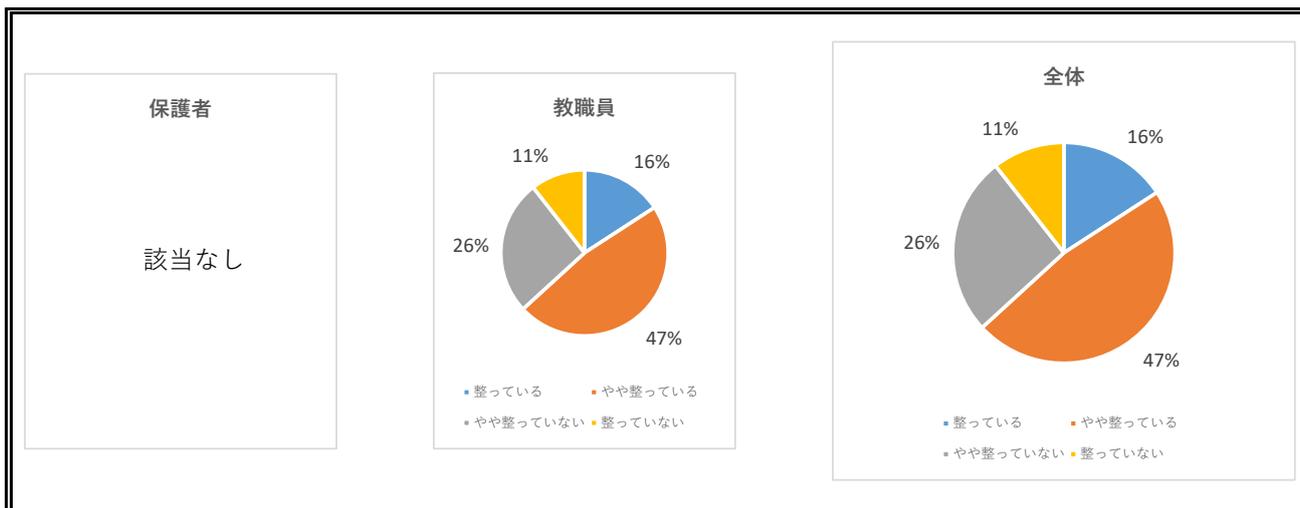
Q11

| | |
|------|--|
| 【設問】 | 学園として、進路選択・進路指導・地域支援に関する情報提供や指導の内容は適切ですか。 |
| 【取組】 | 進路だよりの発行(企業就労・通所施設等利用・福祉サービス・高等部(高校)・大学等進学情報等の発信等)、学部・学年による進路学習や面談の実施、保護者向け学習会(副校長講演)の実施 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 進路指導、地域支援については、関係諸機関との連携が不可欠です。連携を強化し、学園生、保護者にとって、よりよい指導・支援をすすめていきます。 |



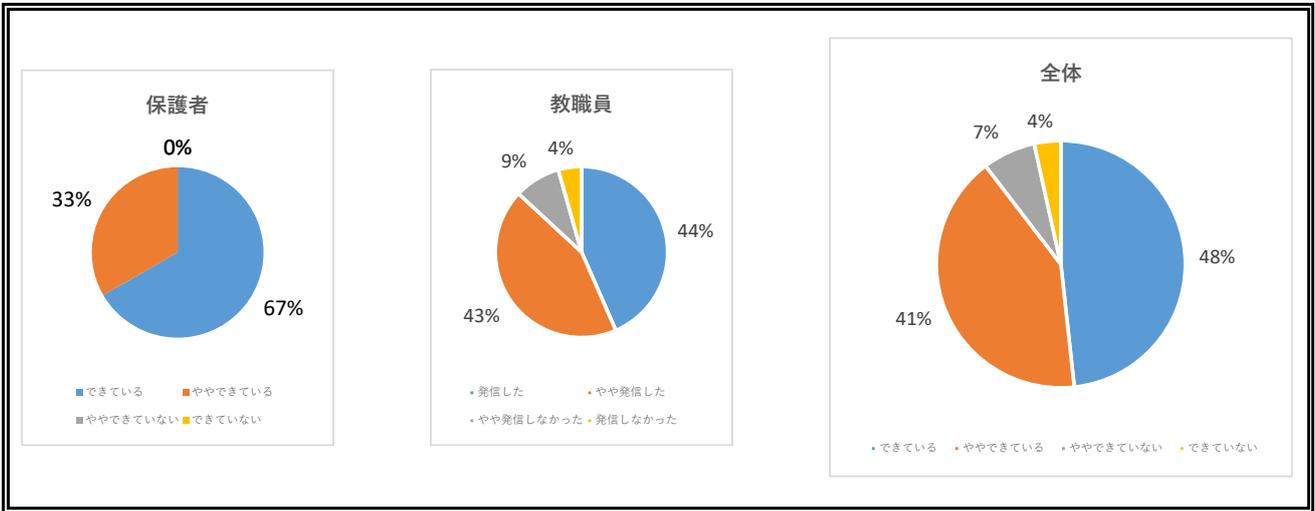
■ 最重点目標9 ライフ・ワークバランスを踏まえた、安全で魅力ある学校環境・職場環境の創出
Q12

| | |
|------|--|
| 【設問】 | 校内美化と新校舎移転に向けた働きやすい執務環境、産業医面談等によって、心身のサポート体制が整ってますか。 |
| 【取組】 | 校舎移転に向けた準備、作業、KKP、クリーンデスクデイ、産業医面談、出張販売(本校)や置き菓子導入(本校)によるリフレッシュ |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ▲ | 産業医による面談を希望する教職員が受けることができます。教職員が健康であることは、学園生への教育にとって大切なことだと考えます。 |



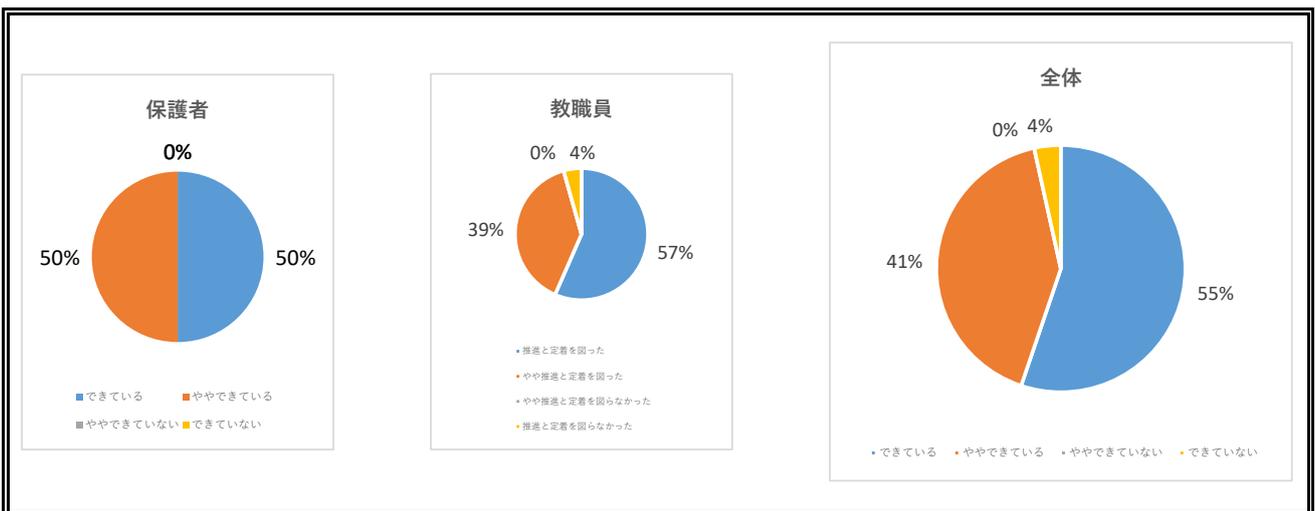
■ 最重点目標 10 研究目標：肢・病併置の良さを生かし、社会に即した学園教育の魅力開発と発信
Q13

| | |
|------|---|
| 【設問】 | 本校の研究成果(学力向上の成果、GIGAスクール構想の活用、医療的ケアの充実、授業者支援会議の成果による授業改善、ICT教育の推進、アートプロジェクトの推進)を効果的に発信できましたか。 |
| 【取組】 | 全国公開研究会の実施(2月実施)、全国肢体不自由教育連絡協議会、全国病弱教育連絡協議会等での研究成果発表 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ○ | 全国公開研究会は、今年度も2月にオンライン開催し、全国から300名超の参加がありました。本校の研究成果を発表する場として、定着しています。 |



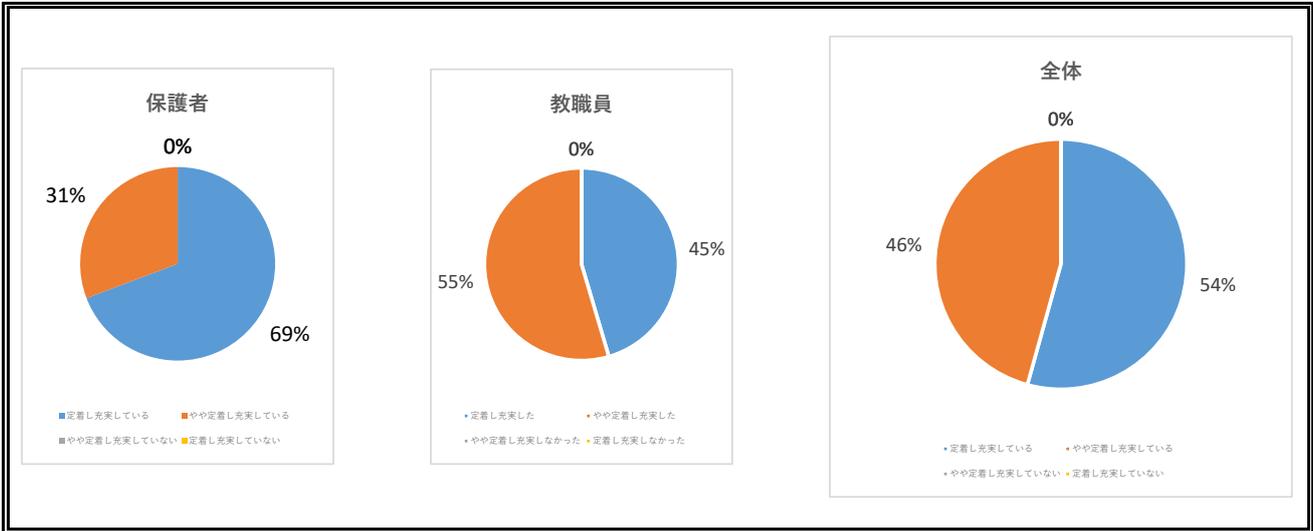
■ 別掲 1 読書活動の推進
Q14

| | |
|------|--|
| 【設問】 | 読書活動の拠点校として、蔵書の整備、貸出システムの構築、読書活動の推進と定着を図ることができましたか。 |
| 【取組】 | 読書活動の推進(図書の配架の工夫、蔵書の増加、POPコンテストの実施など)(分教室拠点) |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 病状に合わせた読書活動を進め、学部を超えて交流することができました。図書ラウンジの図書の配置を工夫することで、学園生の関心も高まり、読書活動が充実しました。 |



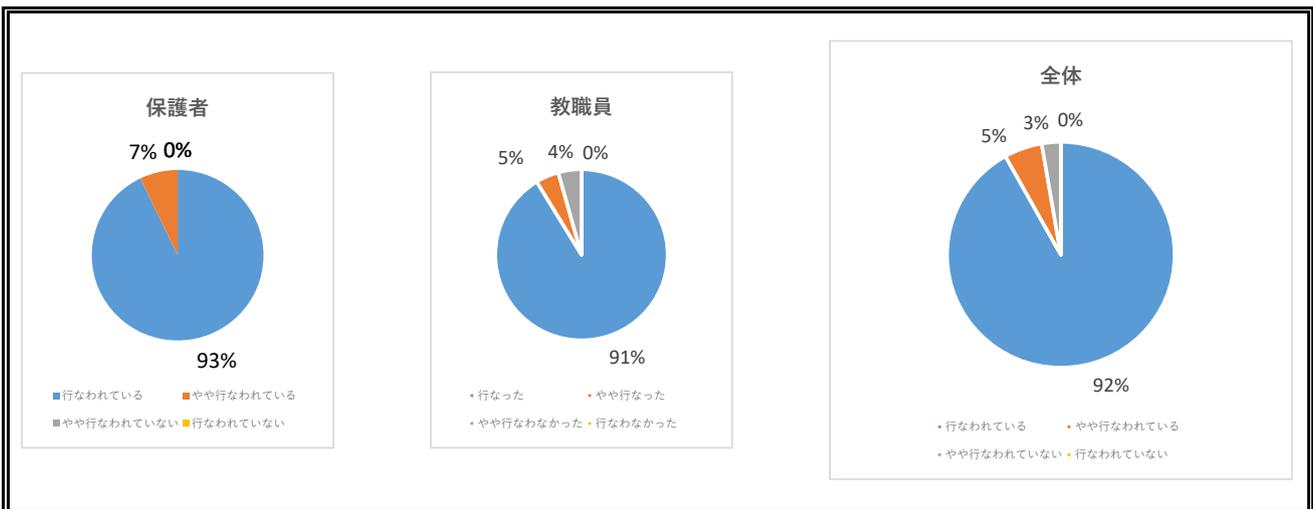
■ 別掲4 光明アートプロジェクトの推進
Q15

| | |
|------|--|
| 【設問】 | 「光明アートギャラリー」の充実、「光美展」「光書展」の表彰など、光明アートプロジェクトの定着し充実しましたか。 |
| 【取組】 | 「光明アートギャラリー」の常設、光美展・光書展及び学園生の表彰の企画、運営 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 光美展、光書展に向けて計画的に取り組むなど、光明アートプロジェクトがさらに拡充し、光明学園の特色として、根付いてきています。 |



■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
Q16

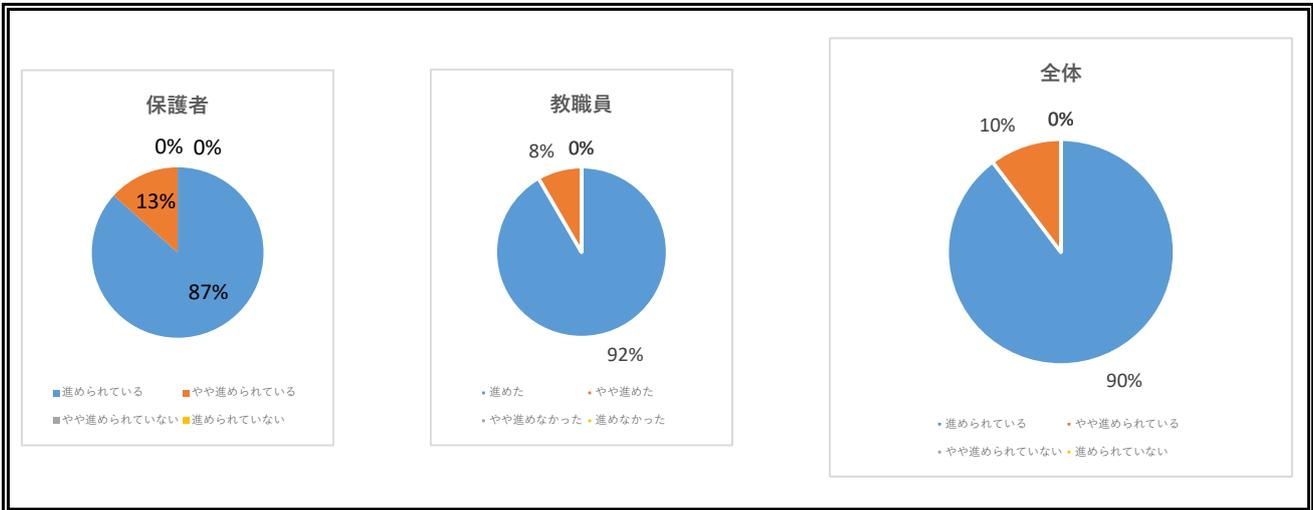
| | |
|------|--|
| 【設問】 | 新型コロナウイルス感染予防対策として、環境整備や衛生管理等安全確保が十分に行われていますか。 |
| 【取組】 | 健康確認(サーモグラフィーの設置)、飛沫防止(マスク・フェイスシールド・アクリル板衝立の使用) 衛生的な環境確保(消毒 動線の制限 来校者の制限 校舎利用の制限 緊急想定訓練) |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 病院と連携をとり、毎朝の健康チェックやマスク、ゴーグルの使用(学園生と接触時)、また物品や分教室内の消毒などを時間を決めて、複数回実施しています。 |



■ 光明学園教職員としての行動指針

Q17

| | |
|------|---|
| 【設問】 | 学園生の個人情報を保護し、学園生の人権を尊重した業務が進められていますか。 |
| 【取組】 | 電子起案の原則化、クリーンデスクデイの計画実施、S1書庫の適正管理 |
| 【評価】 | 【分析】 |
| ◎ | 全ての起案を電子起案としています。多くの個人情報に触れうことの多い場所だけに、引き続き気を引き締めて対処していきます。 |



保護者自由記述

| | 自由意見 | 学校回答 |
|--------|--|--|
| 分教室保護者 | 精神的にもサポート頂けており感謝しかありません。こちらが苦手としている科目のサポートも丁寧にご指導いただきました。ありがとうございます。 | ありがとうございます。 「長い入院生活を頑張った。」「勉強がわかった。」この二つの自信をもって、入院前の生活へ戻ることを目指して指導に当たっています。入院は非日常的な経験ではありますが、自信に変えることで成長の一歩となるよう、支援を続けてまいります。 |
| 分教室保護者 | 転校してまだ日が浅いので回答がわからないばかりですみません。でも息子は体調の良い時は登校するので楽しいんだと思います。 | 御意見ありがとうございます。 コロナ禍にあっても、「学びを止めない」ということを念頭に取組んでまいりました。感染状況に合わせて、病院と連携をとり、オンラインや病棟別の登校など体制を整えてきました。オンラインのみの授業から、今年度は病棟別の分散登校ができるようになり、友達と共に学ぶ楽しさや活動する楽しさを、より感じる事ができたのではないのでしょうか。 |
| 分教室保護者 | 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、登校再開や授業数の増加など、柔軟に対応していただき有難うございます。ただ、オンラインでの通信状況が良くない時があるそうなので、難しいとは思いますが改善していただけると助かります。宜しくお願い致します。 | オンラインの通信状況につきましては、時間帯や場所の工夫など、分教室として考えられる限りの努力をしておりますが、なかなかうまくいかず御不便をおかけして申し訳ありません、なお、通信が途絶えてしまった場合にプリントを用意するなど、学習継続できるようにしています。 |
| 分教室保護者 | 子供が興味を惹くような教材作りにありがたく思っています。そのおかげで、毎回楽しく授業を受けられています。 | 学習内容についても、一人一人の進度や、治療計画や体調を考えて、教材を準備しております。 |